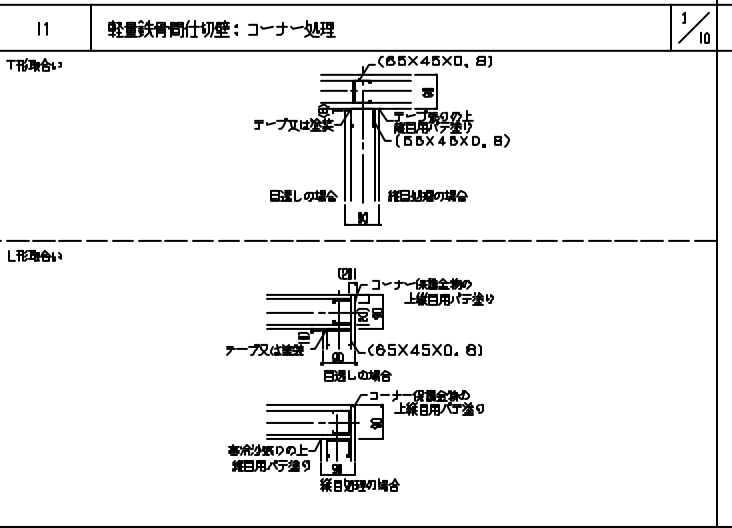
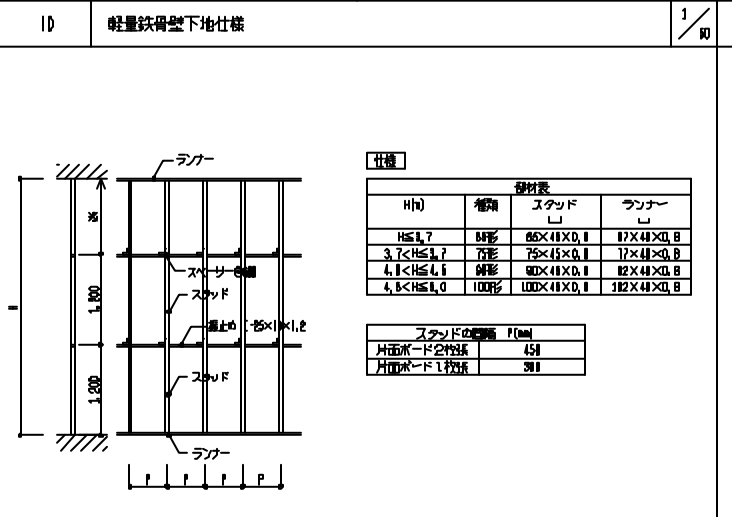
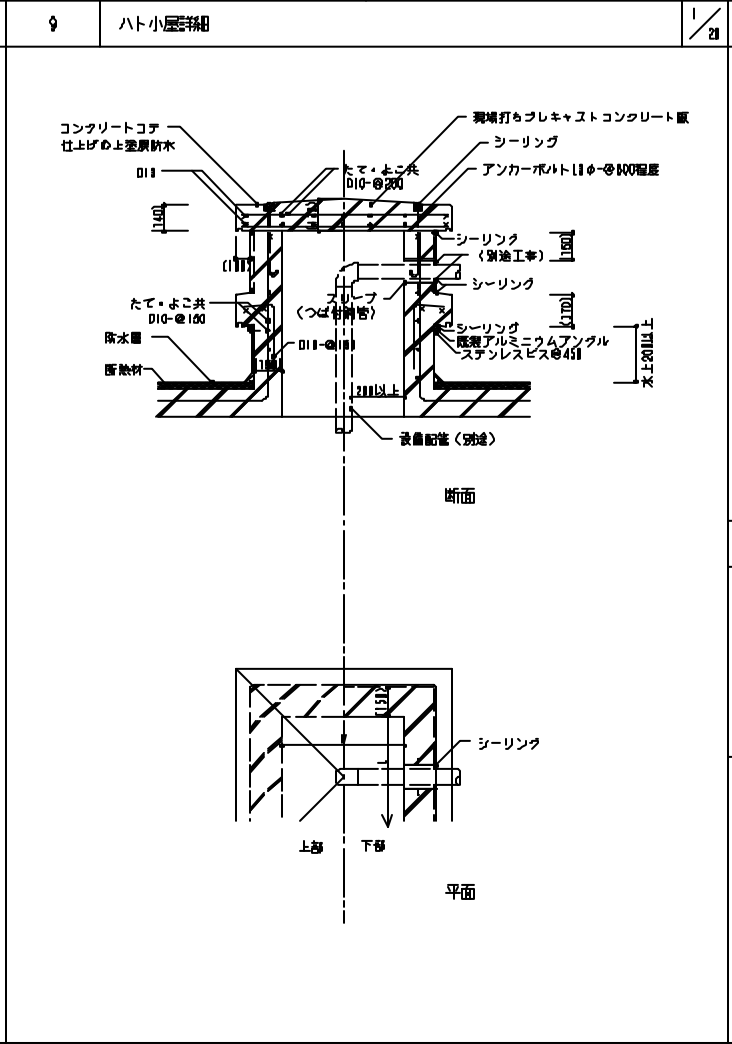
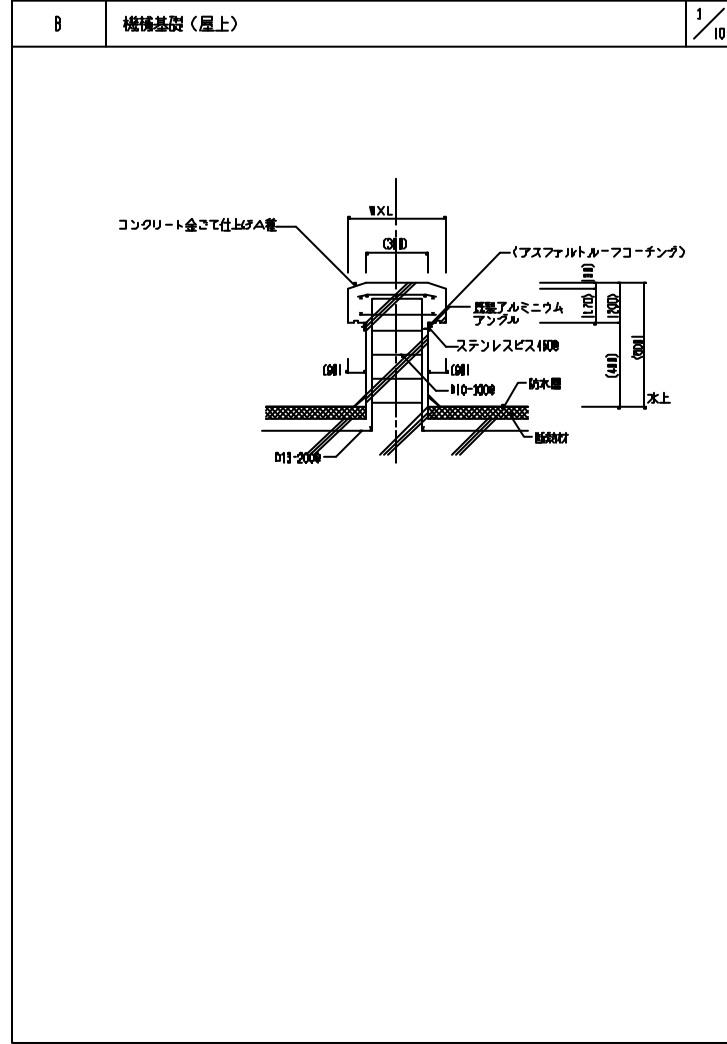
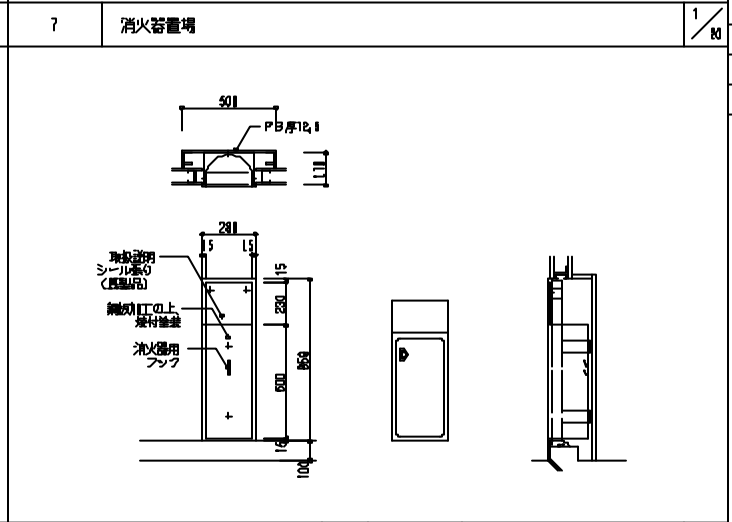
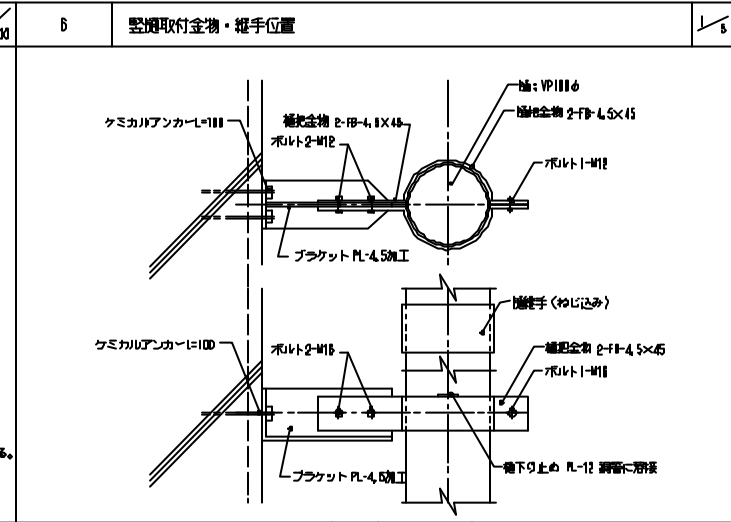
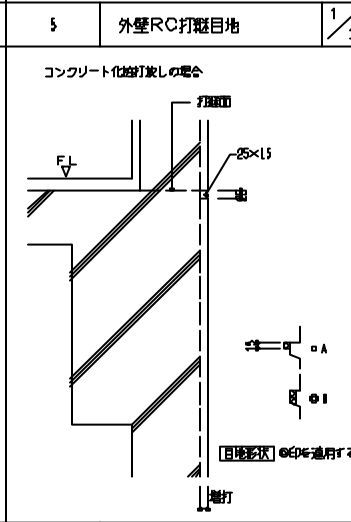
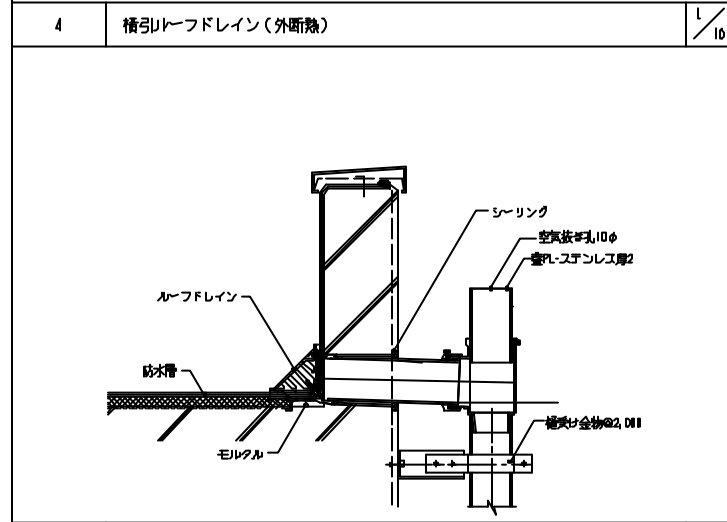


番号	太	名前	投種	備考
1	8	レイヤ1	実線	特
2	4	レイヤ2	実線	特
3	1	補助線	点線A	
4	3	文字4	実線	
5	3	文字3	実線	
6	3	YELLOW	一点鎖線A	
7	6	WHITE	実線	
8	3	CYAN	実線	
9	4	RED	実線	
10	3	GREEN	実線	寸法・引出線
11	3	BLUE	実線	ハッチ
12	3	MAGENTA	実線	
13	3	CYAN2	破線A	
14	3	TNSN2	破線A	
15	3	TNSN3	破線A	
16	3	PHANTOM2	2点鎖線A	
17	4	ELE	実線	
18	4	AJR	実線	
19	3	PLB	実線	
20	3	□	実線	



作成	日付	変更	作成	点検	承認
工事名					
名称 機庫設地(1)					
日付					
図番番号					

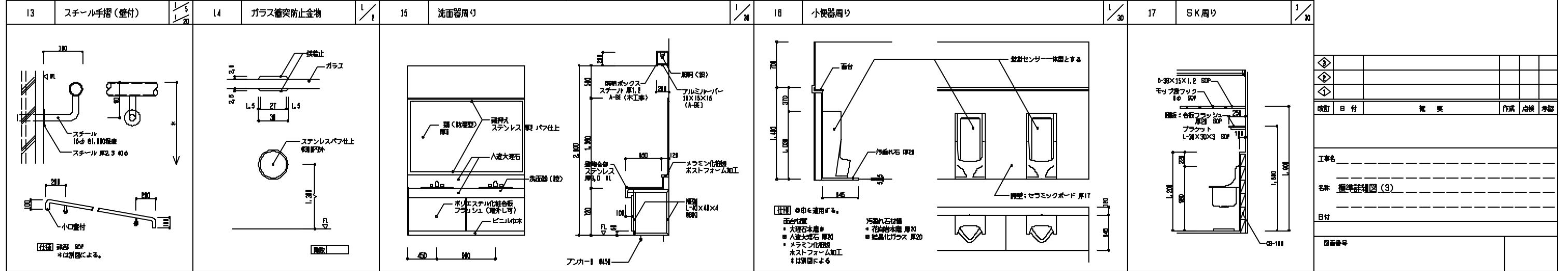
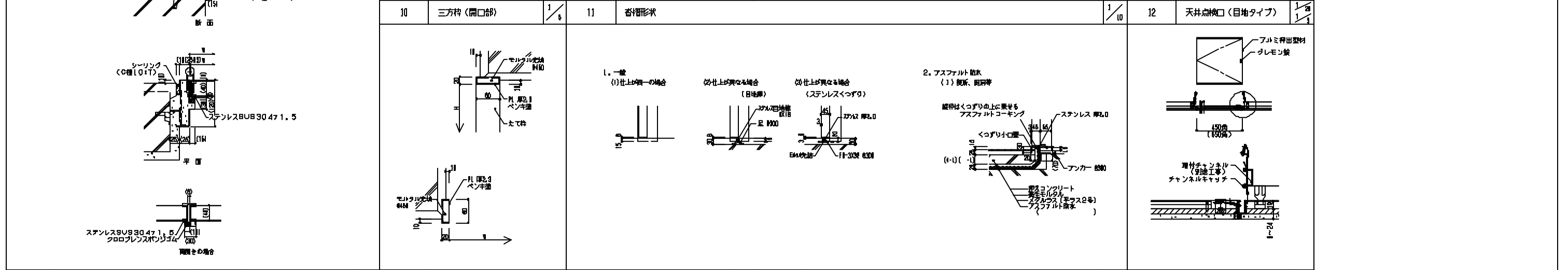
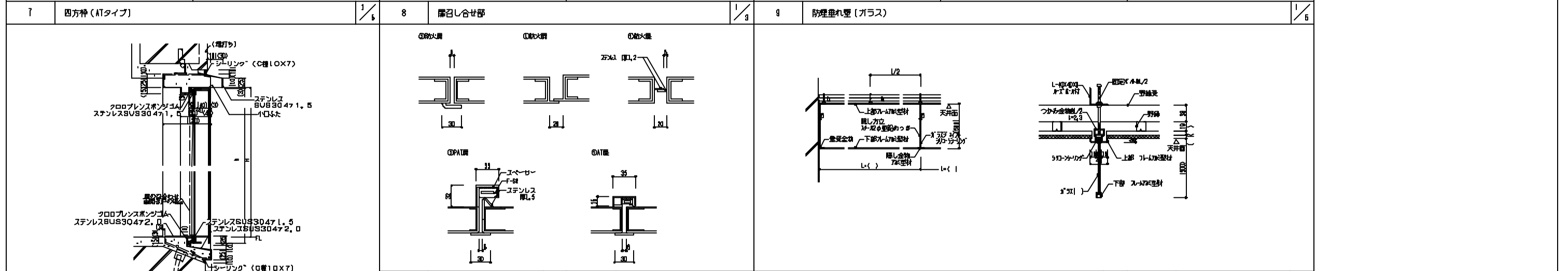
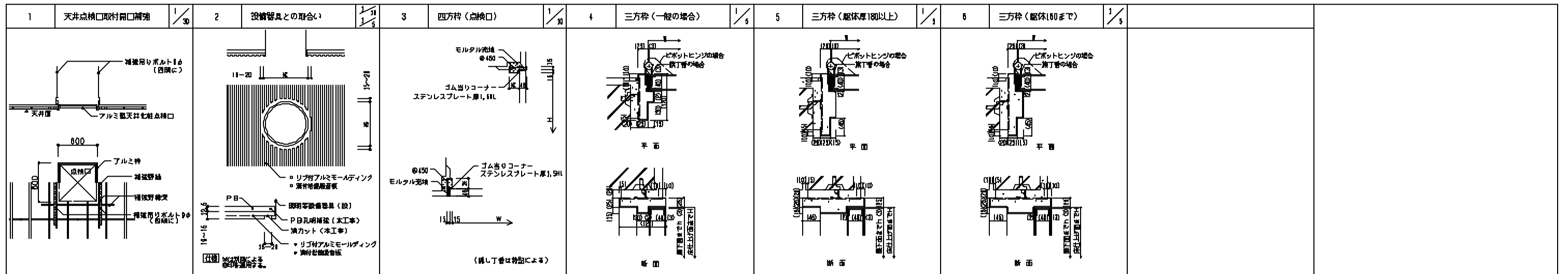
<p>1 軽量鉄骨仕切壁：開口部補強</p> <p>① 自立方立：開口部の動きに追従出来る構造とする。 ② スタッド ③ ランナー ④ 開口部補強：φ100×11×1, 程度</p> <p>⑤ 設備受金物（設備工事） ⑥ 鉄骨等φ10, φ16程度（設置工事） ⑦ ロックワール死地（設備工事）</p> <p>新工法、追従型、一般型 ← 化粧型 出入口等開口補強</p> <p>開口部φ100以上の場合 設置箇所開口補強</p> <p>開口部φ100以下の場合 設置箇所開口補強</p> <p>設備受金物仕様</p>	<p>2 軽量鉄骨仕切壁：リスト 【注】 スタッド式開口仕切壁のスタッド寸法は特記事項により決定すること。</p> <p>一般壁</p>	<p>3 FAフロア</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">□仕様・仕様</th> </tr> <tr> <td>中央集中荷重（層圧荷重）</td> <td>300kgたわみ2.0mm以下</td> </tr> <tr> <td>実用荷重（加圧板圧）</td> <td>1.00t/m以上</td> </tr> <tr> <td>耐火性能</td> <td>積算高層約3000/㎡, 1G</td> </tr> <tr> <td>パネルサイズ</td> <td>800×110</td> </tr> <tr> <td>床高</td> <td>800mm</td> </tr> </table> <p>【注】 ◎印を適用する。</p> <p>1. パネルの材質 ● アルミダイキャスト ● 鋼板 ● FRP板 ● FRP板</p> <p>1. パネルの仕上材 ● ガイカーベント ● ビニルタイル ● 特製防止ビニルタイル ●</p>	□仕様・仕様		中央集中荷重（層圧荷重）	300kgたわみ2.0mm以下	実用荷重（加圧板圧）	1.00t/m以上	耐火性能	積算高層約3000/㎡, 1G	パネルサイズ	800×110	床高	800mm
□仕様・仕様														
中央集中荷重（層圧荷重）	300kgたわみ2.0mm以下													
実用荷重（加圧板圧）	1.00t/m以上													
耐火性能	積算高層約3000/㎡, 1G													
パネルサイズ	800×110													
床高	800mm													

<p>4 設備埋込ボックス類開口補強要領</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3">仕種</th> </tr> <tr> <th>H(m)</th> <th>補強材</th> <th>取付け金物</th> </tr> <tr> <td>H&amp;lt;2</td> <td>C-100×30×10×L3</td> <td>L-30×30×8</td> </tr> <tr> <td>2.7&amp;lt;H&amp;lt;4.0</td> <td>C-15×15×15×L3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.1&amp;lt;H&amp;lt;4.8</td> <td>D-100×40×11×L2</td> <td>L-100×100×4</td> </tr> <tr> <td>4.9&amp;lt;H&amp;lt;5.0</td> <td>D-100×30×10×L3</td> <td></td> </tr> </table> <p>埋込ボックス</p>	仕種			H(m)	補強材	取付け金物	H&lt;2	C-100×30×10×L3	L-30×30×8	2.7&lt;H&lt;4.0	C-15×15×15×L3		4.1&lt;H&lt;4.8	D-100×40×11×L2	L-100×100×4	4.9&lt;H&lt;5.0	D-100×30×10×L3		<p>5 設備埋込ボックス類（スイッチ・コンセント他）開口補強要領</p> <p>埋込ボックス</p>	<p>6 床</p> <p>【注】 井筒の不具合を事前に把握して適切な調整をする。</p>	<p>7 床</p>	<p>8 床</p>
仕種																						
H(m)	補強材	取付け金物																				
H&lt;2	C-100×30×10×L3	L-30×30×8																				
2.7&lt;H&lt;4.0	C-15×15×15×L3																					
4.1&lt;H&lt;4.8	D-100×40×11×L2	L-100×100×4																				
4.9&lt;H&lt;5.0	D-100×30×10×L3																					

<p>9 巾木（ビニール巾木）</p>	<p>10 EPS・床・巾木周り</p>	<p>11 壁</p> <p>サッシの場合</p>	<p>12 壁</p>	<p>18 軽量鉄骨天井下地仕様</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th> <th>吊りボルト 12φ（屋外） φ（室内）</th> <th>野筋（バー）系 埋込深さ 1.4（屋外） 1.2（室内）</th> <th>ダブル（バー）系 埋込深さ 0.7（屋外） 0.5（室内）</th> <th>シングル（バー）系 埋込深さ 0.7（屋外） 0.5（室内）</th> <th>仕上材</th> </tr> <tr> <td>浴室内用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>◎1, ◎11</td> <td>岩綿吸音板</td> </tr> <tr> <td>日除室 φ100×100</td> <td>◎11以下</td> <td>◎400以下</td> <td></td> <td>◎11</td> <td>石膏ボード、石膏板、フシキレシブル板</td> </tr> <tr> <td>日除室 φ100×150</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>◎300 ◎400</td> <td>磁器カラムシウム板、日除板</td> </tr> <tr> <td>直営用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>◎100 ◎150</td> <td>岩綿吸音板</td> </tr> <tr> <td>吹付下地</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>◎100 ◎150</td> <td>ジョイントボード板</td> </tr> </table> <p>（※異なる仕様の場合はしりず）</p> <p>① 1. ビッチ寸法は全て以内とする。 2. ダクト等吊りボルトφ100以上とする場合は、ダクト下に吊りボルト受けの補強材を入れること。 3. 天井面は水平公差1Gに耐える強度の天井面の補強を要すること。 4. 外装天井の場合 耐風圧強度は±20t/m<sup>2</sup>とし、ブレース、圧縮材にて補強すること。 5. 金網天井材の補強には、ステンレス製フックビス（φ20以内）を使用すること。 6. 真鍮金具と接する部分には、サンクロメートキリ止めペイントを塗布すること。</p>		吊りボルト 12φ（屋外） φ（室内）	野筋（バー）系 埋込深さ 1.4（屋外） 1.2（室内）	ダブル（バー）系 埋込深さ 0.7（屋外） 0.5（室内）	シングル（バー）系 埋込深さ 0.7（屋外） 0.5（室内）	仕上材	浴室内用				◎1, ◎11	岩綿吸音板	日除室 φ100×100	◎11以下	◎400以下		◎11	石膏ボード、石膏板、フシキレシブル板	日除室 φ100×150				◎300 ◎400	磁器カラムシウム板、日除板	直営用				◎100 ◎150	岩綿吸音板	吹付下地				◎100 ◎150	ジョイントボード板
	吊りボルト 12φ（屋外） φ（室内）	野筋（バー）系 埋込深さ 1.4（屋外） 1.2（室内）	ダブル（バー）系 埋込深さ 0.7（屋外） 0.5（室内）	シングル（バー）系 埋込深さ 0.7（屋外） 0.5（室内）	仕上材																																			
浴室内用				◎1, ◎11	岩綿吸音板																																			
日除室 φ100×100	◎11以下	◎400以下		◎11	石膏ボード、石膏板、フシキレシブル板																																			
日除室 φ100×150				◎300 ◎400	磁器カラムシウム板、日除板																																			
直営用				◎100 ◎150	岩綿吸音板																																			
吹付下地				◎100 ◎150	ジョイントボード板																																			

<p>13 化粧石膏ボード</p>	<p>14 アルミ板モルディング</p> <p>【注】 ◎印を適用する。 ● 隣接化粧板処理（アルミ板埋合処理） ● 隣接化粧板処理（化粧板埋合処理） ● A-BE ● U-BE</p>	<p>15 見切端</p> <p>【注】 ◎印を適用する。 ● アルミ・シリアールアルミ ● アルミ・A-BE ● 塩ビ</p>	<p>16 照明器具取付開口補強</p>	<p>17 アネモスタット取付開口補強</p>	<p>1. 吊りボルト 2. インサート金物 3. 地盤ハンガー 4. 九角ボルト（外装） 5. 野筋受け 7. 野筋</p>
-------------------	---	--	----------------------	-------------------------	---

作成	日付	編集	作成	点検	承認				
工事名									
名称 機電設備図(2)									
日付									
図面番号									



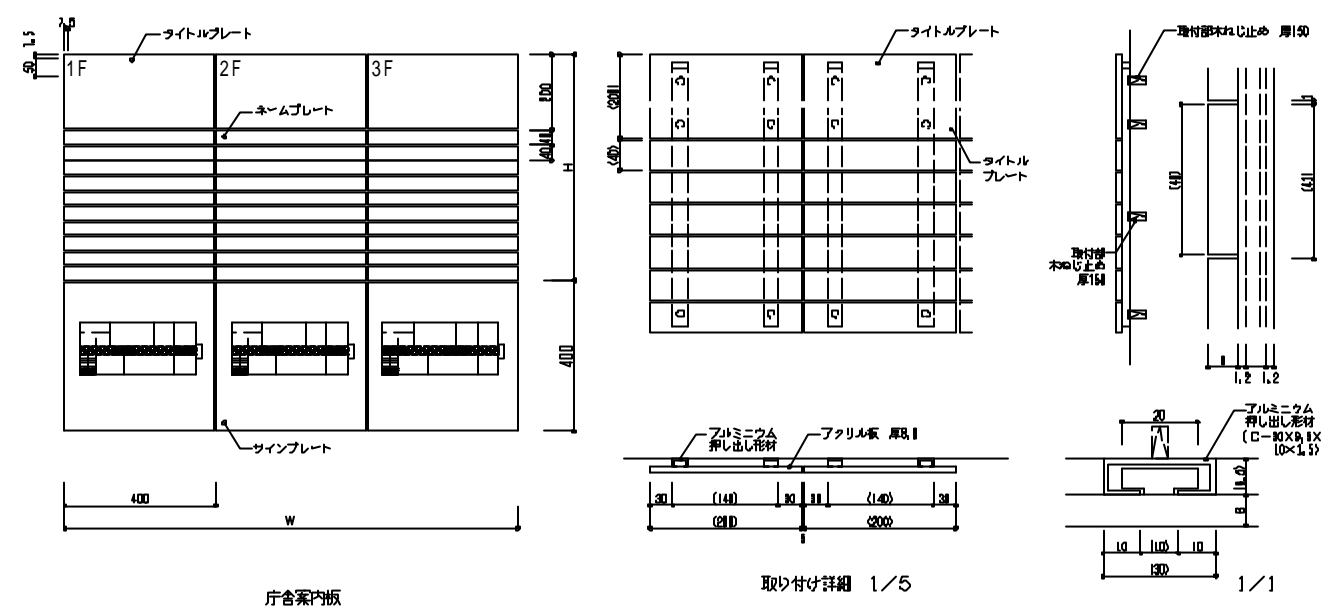
作成	日付	変更	作成	点検	承認
工事名					
名称 標準仕様図(3)					
日付					
図面番号					

<p>1 便所扉スクリーン</p> <p>仕様 ステンレス鋼材はSUS304とする 注:スクリーンにペーパーホルダー等を取り付ける場合は別途ランバーコアとする事。</p>	<p>2 湯沸</p> <p>電気配線はカウンター下に設置</p>	<p>3 電話台</p> <p>仕様 1. 天板・中板:ランバーコア・メラミン化粧板 ポストフォーム加工 2. 脚:メラミン化粧板製 3. 仕切板:メラミン化粧板フラッシュ 4. エッジ:ステンレス(厚0.4mm)×15mm仕上げ 5. フラット:ステンレス FL-6 RP (鏡面)アンカー加工</p>
---	-----------------------------------	--

<p>4 タラップ (安全ガード付)</p> <p>仕様 ● 手摺はステンレスFL ● 足元はステンレスFL ● 足元はステンレスFL ● 足元はステンレスFL ● 足元はステンレスFL</p>	<p>5 階数表示</p> <p>仕様 ● 印を適用する。 ● フッ素樹脂加工 厚10 ● 厚さ W日つき 厚5 ● 厚さ 硝化ビニル(無着色) ● ステンレス 厚1.1 HL</p>	<p>6 柱、壁コーナー</p> <p>仕様 ● 印を適用する。 ● フッ素樹脂加工 厚10 ● 厚さ W日つき 厚5 ● 厚さ 硝化ビニル(無着色) ● ステンレス 厚1.1 HL</p>	<p>7 サイン工事 共通事項</p> <p>1. 文字、結文字 (1) 書体:角ゴシック (2) 文字色:日本語は「黒」、漢字は「H」、数字「L」の両方をそれぞれ適用とする。 (3) 文字:文字の幅が縦幅に等しく見えるよう調整すること。 (4) 行間:文字間については文字高の1/3を標準とする。 (5) 結文字: AIG (アメリカグラフィックアート協会) 監、アメリカ建築家協会「交通サイン」を標準とする。</p> <p>2. 色紙、材質等 (1) 色紙色:仕上りの色紙とする。 (2) 色紙:仕上りの状態の色紙を提出し、後掲の仕様を参照。</p> <p>3. 製作、取付け (1) 施工:次のものを提出し、後掲の仕様を参照すること。 a. 表示位置(図) (右下を念む) b. 取付け位置 (2) 取付け:取付けに近似的なもので取付けが困難な場合はメーカーに相談すること。 (3) 取付け:文字、図形等の拡大縮小は、図面に明示した倍率に準じて行う。 (4) 取付け:取付けに近似的なもので取付けが困難な場合はメーカーに相談すること。 (5) 取付け:取付けに近似的なもので取付けが困難な場合はメーカーに相談すること。 (6) 取付け:取付けに近似的なもので取付けが困難な場合はメーカーに相談すること。 (7) 取付け:取付けに近似的なもので取付けが困難な場合はメーカーに相談すること。</p>	<p>8 塗物塗板</p> <p>仕様 ● 印を適用する。</p>
---	--	---	--	---------------------------------------

<p>9 便所シンボルマーク</p> <p>仕様 ● 印を適用する。</p>	<p>10 使用中表示</p> <p>仕様 ● 印を適用する。</p>	<p>11 室名表示</p> <p>仕様 ● 印を適用する。 ● プレート ● 大タイプ ● 小タイプ ● 文字 ● シルクスクリーン(角ゴシック) ● シルクスクリーン(丸ゴシック) ● 転写紙(セリフ) (丸ゴシック)</p>	<p>12 室名表示</p> <p>仕様 ● 印を適用する。 ● 文字 ● シルクスクリーン(角ゴシック) ● シルクスクリーン(丸ゴシック) ● 転写紙(セリフ) (丸ゴシック)</p>		<p>13 室名表示</p> <p>仕様 ● 印を適用する。</p>
--	---	---	--	--	--

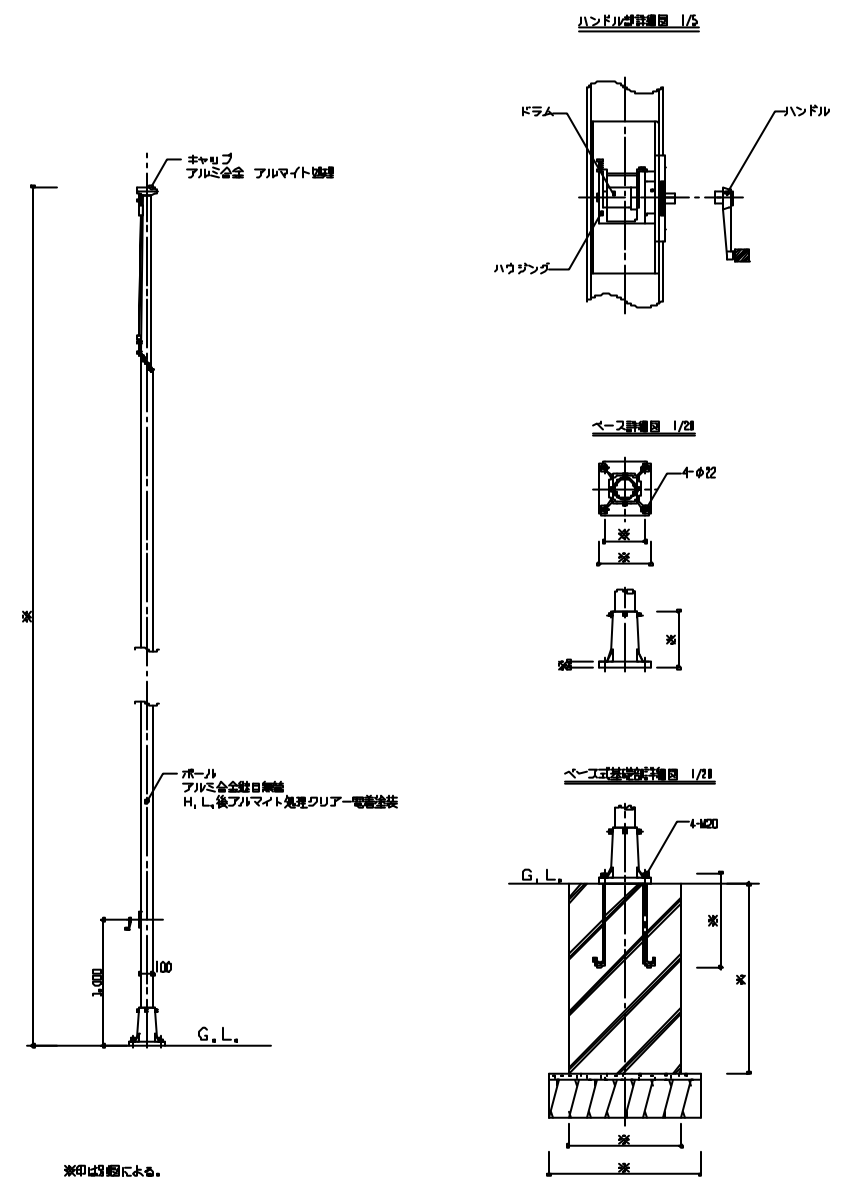
作成	日付	変更	作成	点検	承認
工事名					
名称 標準仕様図(4)					
日付					
図番番号					



庁舎案内板

取り付け詳細 1/5

1/1



ハンドル設置図 1/5

ベース部 1/2

ベース部設置状況 1/2

※印は図面による。

◇				
◇				
◇				
成	日付	概要	作成	点検
工事名 _____ 名称 旗受ポール(5) 日付 _____ 図面番号 _____				